

# ネギをつくらな

## 宇東川

平成十年十一月五日号

今では知る人も少なくなりましたが、原田の宇東川地区では、「ネギをつくらなはいけな」という言い伝えがありました。

今回はその言い伝えをめぐる話を紹介しません。

昔、宇東川地区の氏神様が、白い馬に乗って社殿へ帰ろうとしたとき、馬が何に驚いたのか急に暴れ出しました。氏神様は不意をつかれたため、握っていた手綱たづなを放し、馬から放り出されてしまいました。氏神様が落ちた

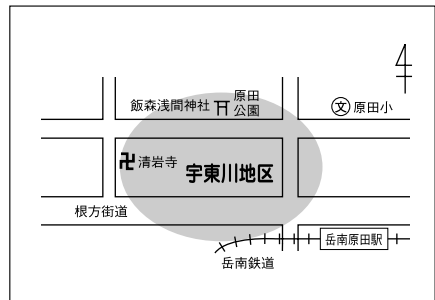
ところはネギ畑で、ネギの汁が目に入り、目が見えなくなってしまうしました。

そんなことがあったから、宇東川地区の人たちは氏神様に申しわけがないとネギをつくらなくなりました。

あるとき、強情な男が「そんなはずはない。おれはそんなことは信じない」と言っ、自分の畑にネギをつくりました。

しばらくすると、その男の家族が次々に病気になるったり、心配事が続いたりするようになりしました。

さすがの男も「これはネギをつくらなで、氏神様が怒ったからかもしれない」と思



い、畑のネギを全部抜き取ってしまった。  
するとどうでしょう、男の家に不幸なこと  
は起こらなくなり、家族の病氣も治りました。



▲ 宇東川の守り神が祭られている飯森浅間神社

宇東川で生まれ育った

小野初治はつじさん（宇東川三丁目）

昔は、ネギをつくることができなくて苦労したものです。正月などにネギを使うときは、ほかの地区の親戚に分けてもらったり、隣の町内からネギを買ってきたりして食べていました。戦後になってようやく、ネギをつくり始めたのではないかと思います。

また、町内にある飯森浅間神社には、氏神様が白い馬をつないだと言われる木もありましたが、昭和半ばの富士川台風で倒れてしまいました。

小さいころはこの地区から東海道線の蒸気機関車の煙が見えたこともありますよ。今では家がふえ、田んぼや畑は少なくなりましたね。